

令和7年度 協働コーディネーター支援事業委託 業務報告書

| | | |
|------|---|---|
| 【目次】 | I 事業概要 1 事業目的・・・1 2 業務内容・・・1 3 参加者・・・1 4 実施経過・・・1 5 結果まとめ・・・2 | II 事業結果（記録） 第1回検討会・・・3 第2回検討会・・・6 第3回検討会（報告会）・・・12 （参考資料） 協働コーディネーター支援事業 事業計画案（令和7年度）・・・17 |
|------|---|---|

令和8年2月 一般社団法人地域問題研究所

I 事業概要

1 事業目的

町内会・連区やボランティア・市民活動団体（以下「町内会等」という。）が活動するうえで抱える課題に対し、地域活動に関する専門的知識を有するアドバイザーや協働のまちづくりコーディネーターが参加して、協働に対する考え方や進め方についての助言をするほか、企業等とのマッチングの支援を受け、協働の手法による課題の解決を図ることを目的として、令和6年度から2か年の事業として実施した。（本報告書は、令和7年度を記載）

2 業務内容

- (1) 令和6年度に引き続き、市が開催した「検討会」において、ワークショップ形式による町内会等の課題解決に向けた協議の中で、協働による課題解決の方向性を示し、企業等とのコーディネーターにつなげる助言を行った。また、協議内容の記録を作成した。3回開催。
- (2) 「検討会」において協議した町内会等の課題解決に向けた取組の概要・経過、協議した課題・解決方法、分析・評価した内容を記録した報告書を作成し、データを市へ提出した。

3 参加者

- 【団体①：Pon's】代表はじめ計6名
- 【団体②：赤坂町内会】会長はじめ4名（年度切替時役員交代あり）
- 【コーディネータ】4名（豊川市まちづくりコーディネーター人材バンク登録者）

4 実施経過（※令和6年度は参考として記載）

| 令和6年度 | | |
|-------|--------------------------|--|
| 事前勉強会 | 8月10日（土） 13：30～15：30 | <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・協働の基礎的な考え方を確認する ・協働のイメージをつかむ（協働に対するハードルをさげる） |
| 第1回 | 9月21日（土） 13：30～15：30 | <ul style="list-style-type: none"> ・各団体の「やりたいこと」と「成果・課題」の整理 ・自前だけでは不足する資源、求められる協働相手を検討 |
| 第2回 | 10月19日（土） 13：30～15：30 | <ul style="list-style-type: none"> ・解決に向けた協働事業の企画案作成 （内容、想定されるパートナー、役割分担、スケジュール、1～3月までの事前準備 等） |

| | | |
|---------|--------------------------|--|
| | | ・第3回発表会にご招待したい人をリストアップして声掛け (招待状に名前を書き、次回までに手渡ししてもらう) |
| 第3回 | 12月22日(日) 10:30~12:30 | ・協働事業企画を完成させる ・発表会・宣言 ※参加者以外にも発表会に参加してもらう、 (次年度、次年度の事業参加団体など) |
| フォローアップ | 1~3月 | ・参加者へ個別に連絡(経過の確認、4月以降の参加依頼) |
| まとめ | 1~3月 | ・業務報告書作成 |
| 令和7年度 | | |
| 準備・実践 | 4~9月 | ・事業計画の詳細検討、準備、調整モデル事業の実践 |
| 第1回 | 6月21日(土) 10:00~12:00 | ・振り返り&令和7年度事業の準備 ・協働相手とのWIN-WINのよりよい連携や運営体制の検討など |
| 第2回 | 9月13日(土) 13:00~15:00 | ・赤坂町内会夏まつりを、各種団体と協働で実施したことによる 成果と改善策について、「準備・プロセス(対話・共創)」と「当 日(内容・運営)」の視点から検討 |
| 第3回 | 11月15日(日) 13:00~15:00 | ・2団体の協働事業の活動成果報告 ①各団体の成果や良い点、印象に残った点など ②R8の持続・発展にむけた展望・提案・期待など ③まちづくりコーディネーターの役割と可能性 ・今後の展望、まちづくりコーディネータについて |
| まとめ | 1~2月 | ・成果まとめ、報告 |

5 結果まとめ ~主な成果と展望~

- ・赤坂町内会夏まつりを、他団体との連携を通じて今後も持続可能な形にするために、Pon'sをはじめ地域内外の各種団体や事業所等とともに、子どもや高齢者が楽しめる内容を拡充することができた。さらに、熱中症などに配慮して施設内で実施するなど、従来の開催方法を大きく見直すことで、多くの来場者に楽しんでもらうことができた。
- ・Pon'sとしても、赤坂町内会夏まつりをはじめ、市内の様々な地域行事やイベントに出店することで活動の充実を図ることができた。また、活動を通じて資金の確保、認知度の向上、さらに新たな人材の発掘にもつなげることができた。
- ・今後、地域団体と市民活動団体、事業所が協働を進める上で、コーディネート役(協働担当)などの人員の配置、協働相手へのPR・依頼方法、事業所が参加・協力しやすい事業内容(曜日・時間帯、打合せ)、実施後の振り返りなどの課題が明らかになった。
- ・本事業(協働コーディネータ支援事業委託)としては、2か年の事業期間が参加団体に負担となる面もあることから、次年度は事業期間や内容について見直しを検討する。

※詳細な成果や課題・展望は、次ページ以降の各回の記録を参照

町内会やボランティア・市民活動団体が抱える課題を、企業や他団体との協働で解決を図る

協働コーディネート支援事業

令和7年度 第1回 検討会 (通算第4回)

令和7年6月21日(土) 10時~12時 / 豊川市役所3階 34会議室

《事業の趣旨》

区・町内会やボランティア・市民団体が抱える様々な課題に、自分たちだけで自前で対応するには負担も大きく限界があります。そこで、**地域の様々な活動を「よりよく」「持続可能」にするために、企業や他団体との協働をつうじて取り組んでいくことを目指すのが本事業**です。

1年目の**令和6年度は計画づくり**を実施。2年目の**令和7年度は準備・実践・振り返り**を行います。専門的知識を有するアドバイザーやまちづくりコーディネータが参加団体と一緒に検討に加わり、助言や支援をして課題解決、価値創造に導きます。

《第1回検討会の目指すゴール》

各団体の実践・検討状況を確認し、令和7年度の具体的な活動の準備を進めましょう！

《配布資料》

次第(資料1)、参加者アンケート調査票

《本日のタイムスケジュール》

- | | |
|--------|--|
| 10:00~ | 1. 開会・ガイダンス 5分 ■趣旨及び事業概要、スケジュールの確認 ■参加者自己紹介(近況報告) |
| 10:20~ | 2. グループワーク「振り返り&令和7年度事業の準備」 50分 ■赤坂町内会さん…『8/3夏まつり』の準備(実行委員会:6/14、9/6) 協働相手とのWIN-WINのよりよい連携や運営体制、 来場者アンケート調査の実施検討…など ■Pon'sさん…R7前半の成果(変化、創出した価値)と今後の課題・展望 ※参考(5月号広報):生涯学習講座「親子ふれあい工房」掲載 |
| 11:10~ | 3. 成果発表&次の一歩を共有! 30分 ■お互いのグループワークの成果発表&意見交換 |
| 11:40~ | 4. まとめ 10分 |
| 11:50~ | 5. 事務連絡 10分 ■今後の予定など確認 |
- (12:00 閉会)



《第 1 回検討会 開催結果概要》

(1) 参加者数 赤坂町内会さん4名、Pon'sさん5名 コーディネータ3名 計12名

(2 結果概要

①開会・ガイダンス

事務局より、昨年度からの2か年で行っている本事業の趣旨及び事業概要、スケジュールを改めて確認しました。その後、改めて参加者一人ずつ自己紹介や近況報告を行いました。

②グループワーク「振り返り&令和7年度事業の準備」



【赤坂町内会さん】

『8/3 夏まつり』にむけて、協働相手とのWIN-WINのよりよい連携や運営体制、祭りの内容などについて検討を行いました。(※主なご意見は以下の通り)

- ・新住民が町内会に溶け込めていない面がある。新旧のギャップをなくし、新たな交流やつながりが生まれるような祭りにしたい。
- ・子どもだけでなくシニアも一緒に楽しめる祭りにしたい。
- ・暑さ対策として、雨天でも対応できるように屋内中心で実施。
- ・施設的にキャパは150名程度か。図書館との調整も必要で、抽選会や子ども総踊りなどの来場者が集中する時間帯は運営に配慮が必要。
- ・今後は実施時期も要検討。
- ・企業などの各団体はいろいろ協力してくれて、順調に調整が進んでいる。ただ企業は、休日は従業員が出しにくいという問題がある。青年団や婦人会、子ども会などへも依頼するか。
- ・中学生ボランティアも進めたい。部活から出演してもらおうが、町内会から改めて協力依頼を検討。
- ・新役員として、家族にも来場を呼び掛けてもらったらどうか。
- ・長沢町内会の祭りも同日開催のため、キッチンカーなどの調整が難しい。

【Pon's さん】

R7前半の事業内容をふりかえり、そこで生まれた成果を振り返るとともに、今後の課題・展望について意見交換しました。（※主なご意見は以下の通り）

- ・昨年度の検討会以降も、「竹島マルシェ」、「親子ふれあい工房」、「くるみマルシェ」などに出店。順調に活動が充実している。出店料の高いイベントについては、今後も検討が必要。
- ・Pon'sの自主活動としてのプリオでワークショップも行っている。告知チラシなども工夫しているが、まだ単独での実施では集客に多少不安がある。
- ・イベント出展をつうじて、団体の知名度も着実に向上し、他団体とのネットワークが広がるとともに、新たなメンバーの加入にもむすびついている。
- ・子ども会や町内会などとも連携が進み、団体として地域との協働も進んでいる。
- ・行政関連のイベントに出店したり、市広報でイベントのPRをしてもらうことで、団体の信用力が高まるとともに補助金なども頂くことができ、効果が大きい。

| | |
|--|--|
| <p>Pon's さん がんばり振り返りシート (昨年度事業発表～今年度7年度発表)</p> <p>事業・イベント名 47島 ズルシェ</p> <p>活動日時/会場 2025/3/20 /</p> <p>協働・連携相手</p> <p>来場者数/スタッフ数</p> <p>主な 実施内容 工夫した点 出店料 5,000円 風引袋 貸し出し 土曜日より(47島が無料)</p> <p>成果、気づき、変化 (内容、お集まりの反応、 手ごたえ、感想等-など)</p> <p>出店料をいってこぼさ...</p> | <p>Pon's さん がんばり振り返りシート (昨年度事業発表～今年度7年度発表)</p> <p>事業・イベント名 親子ふれあい工房 (生涯学習)</p> <p>活動日時/会場</p> <p>協働・連携相手</p> <p>来場者数/スタッフ数</p> <p>主な 実施内容 工夫した点 広報でよかれ 5月号 1527円補助金</p> <p>成果、気づき、変化 (内容、お集まりの反応、 手ごたえ、感想等-など)</p> |
| <p>Pon's さん がんばり振り返りシート (昨年度事業発表～今年度7年度発表)</p> <p>事業・イベント名 くるみマルシェ</p> <p>活動日時/会場 2025/2/16 /</p> <p>協働・連携相手</p> <p>来場者数/スタッフ数</p> <p>主な 実施内容 工夫した点 出店料 500円 参加人数 5人 → スタッフがコミュニケーション</p> <p>成果、気づき、変化 (内容、お集まりの反応、 手ごたえ、感想等-など)</p> <p>新メンバー 加入</p> | <p>Pon's さん がんばり振り返りシート (昨年度事業発表～今年度7年度発表)</p> <p>事業・イベント名 Pon's R7ワークショップ</p> <p>活動日時/会場 2025/7/19 / プリオ</p> <p>協働・連携相手</p> <p>来場者数/スタッフ数</p> <p>主な 実施内容 工夫した点 単独 行 集客心配 告知チラシでよかれ</p> <p>成果、気づき、変化 (内容、お集まりの反応、 手ごたえ、感想等-など)</p> |

③成果発表&次の一步を共有！

お互いのグループワークの成果を発表するとともに、今後の課題などについて意見交換を行いました。アドバイザーからは「協働相手とよりよい関係をつくるために、きめ細かい連絡や報告、感謝を伝えるとともに、実施後の成果のフィードバックなども大切にしてほしい」といった助言も行いました。



④事務連絡

事務局より、今後のスケジュールなど確認して終了しました。(12:00 閉会)

協働コーディネート支援事業 令和7年度 第2回 検討会 (通算第5回)

令和7年9月13日(土) 13時~15時 / 豊川市役所3階 34会議室

《事業の趣旨》

区・町内会やボランティア・市民団体が抱える様々な課題に、自分たちだけで自前で対応するには負担も大きく限界があります。そこで、**地域の様々な活動を「よりよく」「持続可能」にするために、企業や他団体との協働をつうじて取り組んでいくことを目指すのが本事業**です。

1年目の**令和6年度は計画づくり**を実施。2年目の**令和7年度は準備・実践・振り返り**を行います。専門的知識を有するアドバイザーやまちづくりコーディネータが参加団体と一緒に検討に加わり、助言や支援をしながらともに課題解決、価値創造に導きます。

《第2回検討会の目指すゴール》

赤坂町内会『8/3 夏まつり』の成果をみんなで振り返り共有！さらに、来年度の夏まつりを展望！

《配布資料》

次第、第1回開催記録、赤坂夏まつり関連資料、参加者アンケート調査票

《本日のタイムスケジュール》

- | | |
|--------|--|
| 13:00~ | 1. 開会・ガイダンス 5分 ■趣旨及び事業概要、スケジュールの確認 |
| 13:05~ | 2. 成果報告「赤坂町内会 夏まつり」 15分 ■当日の様子やふりかえり会について 赤坂町内会さんからご報告(12分) ■一緒に盛上げた「Pon'sさん」からもコメント(3分) |
| 13:20~ | 3. グループワーク「赤坂町内会 夏まつりの成果&改善策」 60分 ■赤坂町内会夏まつりを、各種団体と協働で実施したことによる 【成果：よかった・できた】と【改善策：次はこうしたい】を意見交換 地元関係者と連携相手との対話や信頼関係・体制づくり、 運営体制や事業内容の充実、スタッフの楽しさややりがい・満足度、 来場者の人数や年齢層の変化、地元の方や来場者の反応や評価、 昨年度からの変化、協働によって新たに生み出した価値や魅力…など ■「準備・プロセス(対話・共創)」と「当日(内容・運営)」の視点から検討 |
| 14:20~ | 4. 成果発表&次の一步を共有！ 30分 ■お互いのグループワークの成果発表 & 令和8年度の展望・野望を語る！ |
| 14:50~ | 5. まとめ 5分 |
| 14:55~ | 6. 事務連絡 5分 ■第3回 11/15(土) 13:00~15:00/豊川市文化会館 |

(15:00 閉会)



《第2回検討会 開催結果概要》

(1) 参加者数 赤坂町内会さん3名、Pon'sさん2名、コーディネータ4名 計9名



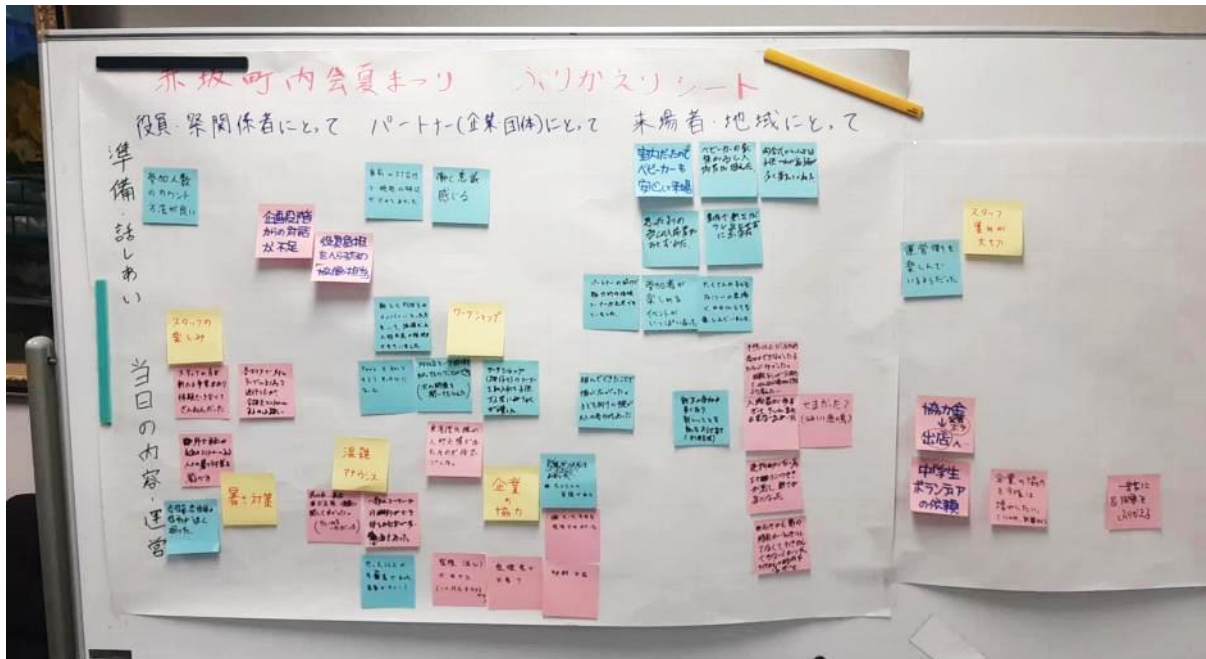
(2) 結果概要

(夏まつりの様子：Pon'sさん資料より抜粋)



「赤坂町内会 夏まつりの成果&改善策」～

- 「赤坂町内会『8/3 夏まつり』の成果を振り返り共有！さらに、来年度の夏まつりを展望」
- 赤坂町内会夏まつりを、各種団体と協働で実施したことによる
 - 【成果：よかった・できた】と【改善策：次はこうしたい】を意見交換
 - 地元関係者と連携相手との対話や信頼関係・体制づくり、
 - 運営体制や事業内容の充実、スタッフの楽しさややりがい・満足度、
 - 来場者の人数や年齢層の変化、地元の方や来場者の反応や評価、
 - 昨年度からの変化、協働によって新たに生み出した価値や魅力…など
- 「準備・プロセス（対話・共創）」と「当日（内容・運営）」の視点から検討



意見（51）の内訳

| キーワード | 成果・効果 | 課題 | 改善アイデア | 合計 |
|-------|-------|----|--------|----|
| 集客 | 7 | 4 | 1 | 12 |
| プログラム | 6 | 2 | 3 | 11 |
| 連携相手 | 2 | 2 | 4 | 8 |
| 会場設備 | 4 | 1 | 2 | 7 |
| 運営 | 4 | 1 | 1 | 6 |
| 人員配置 | 1 | 3 | 2 | 6 |
| その他 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | 25 | 13 | 13 | 51 |

◆集客について

【成果・効果】

- ・思った以上の参加者があった。集客がすごい！
- ・ベビーカーの家族が多く入場者が増えた
- ・開会式から小さな子供連れの家族が多く集まってくれた
- ・思ったより多くの入場者がおとずれた
- ・たくさん子どもファミリーの来場で、みなさんと楽しんでいました。
- ・たくさん笑顔があった
- ・親子の参加が多くあり、新しい事（利用方法）を知ったようです。

【課題】

- ・入場者が多すぎてゲームができない子がいた。
- ・高齢者が少なく感じた
- ・混みあい具合、並び方等、順番に関して甘かった（クレームをいただいた）
- ・一部のコーナーで行列ができ、待ち時間が多い場面もあった

【改善アイデア】

- ・整理券が必要？

◆プログラムについて

【成果・効果】

- ・ Pon's を知ってもらうきっかけになった
- ・ Pon's という団体を知ってもらう事ができた（次の開催をきいてもらえた）
- ・ ワークショップ（モノづくり）のコーナーを取り入れて子ども、大人共に魅力が増した。
- ・ 参加者が楽しめるイベントがいっぱいあった
- ・ 運営側も楽しんでいるようだった
- ・ プログラム(ゲーム) などがたくさんあって、みんなが楽しめた

【課題】

- ・ 用意した材料が予想を超えて不足
- ・ 同じ人が何回も作成することがあった

【改善アイデア】

- ・ 予想以上だったため、参加できなかった子たちが多かった（回数をしっかり決めて、みんなが参加できるよう考えたい。）
- ・ 引換券の時間がはっきりとしてなくて、引き換えできない人がいた。引き換えの時間をはっきりと
- ・ Pon's 大人向けのパーツもあると良かった

◆連携相手について

【成果・効果】

- ・ パートナー企業・団体の協力で魅力的な体験コーナーが充実できていました。
- ・ 組んでできたことで幅が広がった。子供向けの予定が大人の参加もあった

【課題】

- ・ Pon's 運営側もやりたかった
- ・ 東海理化様の人的支援がなかったのが残念でした。

【改善アイデア】

- ・ 協力金→出店へと展開したい
- ・ 一緒に&成果をふりかえる
- ・ 中学生ボランティアの依頼
- ・ 企業の協力を今後は増やしたい（CCNET、新聞など）

◆会場設備について

【成果・効果】

- ・ 室内だったのでベビーカーでも安心して来場
- ・ 屋内で暑さを少し気にせずにできた
- ・ せまかった？（うれしい悲鳴）
- ・ 暑さ対策がしっかりとできていた

【課題】

- ・ 建物が古い為、エアコンの効きが悪く、熱さが気になった

【改善アイデア】

- ・ もっと大きな会場でも良かった
- ・ 来年は図書館の閉館を希望する

◆人員配置について

【成果・効果】

- ・ 各役員、各団体の役割がうまく廻った

【課題】

- ・ 整理（並び）が不十分（人の対応ができなかった）
- ・ スタッフの方に新たな事業があり、体験できなくて残念だった
- ・ 各エリアでタイムテーブルを作って進行したが、全体をコントロールするのは難しい

【改善アイデア】

- ・ 外で車両や交通コントロールにあたる人々の暑さ対策を図るべき
- ・ 会場内に多くの人が集まり、各部屋の出入りや行列の整理が必要かなと感じた。

◆運営について

【成果・効果】

- ・ 参加人数のカウント方法が良い
- ・ 事前の打ち合わせで現地の確認ができてよかった
- ・ 新しく Pon's のメンバーに入った方もいて、課題だった自在不足の解決ができていました。
- ・ 材料費の支払いより資金確保ができ、今後の活動にプラスになった

【課題】

- ・ 企画段階からの対話が不足

【改善アイデア】

- ・ 役員負担を減らすための「協働担当」

協働コーディネーター支援事業 令和7年度 第3回検討会 (通算第6回) (第2回コーディネーターフォローアップ講座)

令和7年11月15日(土) 13時~15時 / 豊川市文化会館

《本日のテーマ》

赤坂町内会と Pon's さんの成果を共有し、今後の展望やまちづくりコーディネーターの可能性を検討

《配布資料》

次第、第2回開催記録、事業概要、活動報告資料、協働コーディネーター支援事業概要資料、参加者アンケート調査票

《本日のタイムスケジュール》

- | | |
|--------|--|
| 13:00~ | 1. 開会・ガイダンス 10分 <ul style="list-style-type: none">■ 趣旨及び事業概要、経過の確認■ 参加者自己紹介 |
| 13:10~ | 2. 活動成果報告 40分 <ul style="list-style-type: none">■ 赤坂町内会さん & Pon's さんから成果報告 (各 発表 15分 + 質疑応答 5分)■ 参加者は付箋にコメント記載 (意見、提案…など) |
| 13:50~ | 3. グループワーク「2団体の協働事業の成果と展望」 35分 <ul style="list-style-type: none">① 各団体の成果や良い点、印象に残った点など② R8の持続・発展にむけた展望・提案・期待など③ まちづくりコーディネーターの役割と可能性 (※適宜 各自で休憩) |
| 14:25~ | 4. 全体発表・まとめ 20分 <ul style="list-style-type: none">■ 各グループの進行役から発表 (各5分) & 意見交換■ 2団体からまとめのコメント (2年間のふりかえり、今後の展望、まちづくりコーディネーターについて) |
| 14:45~ | 5. 事務連絡 5分 <p>(14:50 閉会/休憩)</p> |

(第2回 コーディネーターフォローアップ講座)

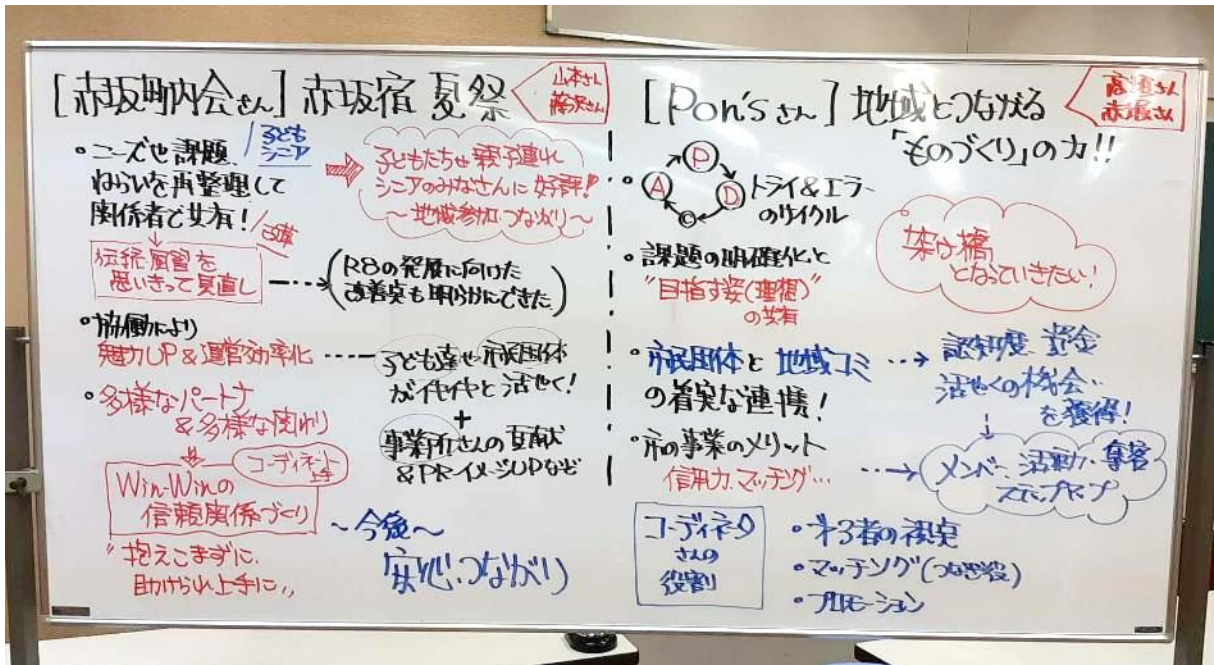
- | | |
|--------|------------------------------|
| 15:00~ | ■ 第1部のふりかえり・論点整理 |
| 16:00 | ■ まちづくりコーディネーターとして取り組んでみたいこと |
| | ■ まとめ・事務連絡 |

《第3回検討会 開催結果概要》

(1) 参加者数 赤坂町内会さん3名、Pon'sさん3名、コーディネータ3名 計9名

※オブザーバ：まちづくりコーディネータ 9名

(上記3名を除く、豊川市まちづくりコーディネーターフォローアップ講座参加者)



(2) 結果概要

① 「2団体の協働事業の成果と展望」

■ 赤坂町内会

【成果】

- ・ 子どもやシニアが楽しめる祭りにしたいと考え、改めて住民のニーズや地域の課題、祭りのねらいを再整理して関係者で共有することができた。
- ・ それによって、長年続いてきた伝統や風習を思い切って見直すことができた。
- ・ その結果、子どもたちや家族連れ、高齢者のみなさんが大勢集まってくれて、大変好評であった。
- ・ 地域行事への各種団体の協力や、様々な世代の住民の参加を通じて、新たな地域のつながりづくりにも寄与することができた。
- ・ 子どもたちや Pon's さんなどの市民活動団体、事業所など、協働した団体さんがイキイキと活躍してくれて、事業の魅力アップと運営の効率化の両面から改善することができた。
- ・ 事業所の地域貢献や PR・イメージアップの機会としても活用してもらえた。

【展望】

- ・ 多様なパートナーと WIN-WIN の信頼関係を構築し、町内会などの地域団体だけで抱え込まずに助けられ上手（受援力）になることで、よりよい事業へと発展させていきたい。

■ Pon's

【成果】

- ・ 本事業への参加を通じて、目指す理想の活動や成果をメンバー同士で共有するとともに、今後の課題を明確化することができた。さらに、計画から実践、見直し、改善策の実行まで、PDCA サイクルをしっかりと回すことができた。
- ・ 市主催の生涯学習事業「親子ものづくり工房」に参加することで、団体の信用力を高めるとともに、地域コミュニティや新たなボランティア、他団体などとのネットワーク構築に成功した。
- ・ 赤坂町内会をはじめ、地域コミュニティとの着実な連携を進めることができた。それによって、団体の認知度向上、活動資金の確保、メンバーの活躍の機会作りをすすめることができた。
- ・ 単発のイベントから、定期ワークショップの活動への進めることができた。
- ・ コーディネーターさんの伴走支援は、「第三者の視点からのアドバイス」、「つなぎ役（マッチング）」、「広報等ノウハウ提供」の点で役に立ち、大変ありがたかった。

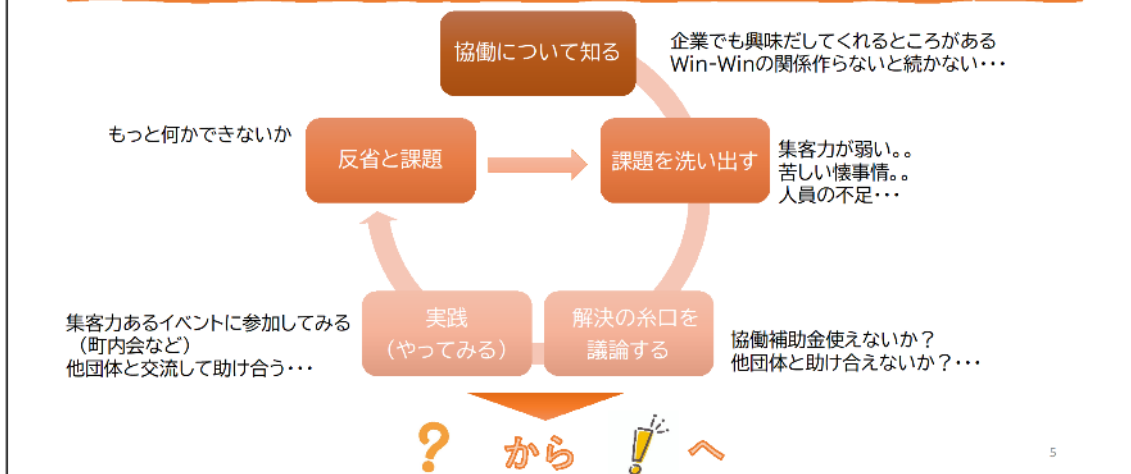
【展望】

- ・ SNS や地域メディアでの広報、学校や福祉施設、町内会との連携を強化していきたい。
- ・ メンバーの確保、発信力の強化などにより団体の活動をステップアップさせて、「ものづくり」の力で、“協働を通じて他団体の架け橋となる”ことを目指したい。

■ 協働コーディネート支援事業とは(1)



■ 協働コーディネート支援事業とは(2)



②「まちづくりコーディネータの気づき・学び」

※第2部（第2回 コーディネーターフォローアップ講座）

「2団体を事例報告を踏まえて、

まちづくりコーディネータとして取り組んでみたいこと」より

- ・「個人の体験を活かせること、自分ができること、相手の参考になること。
（これからの要素をバランスよく押さえて、貢献していきたい）」
- ・「豊川のまちを良くしていきたいという思いのある団体をさりげない立場で支援していきたい。」
- ・「コーディネータと認知度アップに向けて、口コミで横展開を図りたい」
- ・「まちづくりコーディネータの認知度アップ、活躍の場の増加」
- ・「小さなことからコツコツと、いろんな団体を知っておこうと思う。何かの時につながることができれば良いかな」
- ・「子どもや子育て支援に関心のある人材と活動や団体をつなげていきたい」
- ・「掛け算のススメ」
- ・「町内会を学ぶプログラム、職と連携した学習体験、17歳と地域課題解決プロジェクト、
ネームバリュー向上」
- ・「つながりを大切にして、次もやりたい思えるような活動をしたい」
- ・「現在は町内会や団体に属しておらず、まちづくりコーディネータの皆様が活動する情報を入手し、出番がある時に活用したい」
- ・「町内会や連区を知る、自分が無理せずできることを探す、小さく短期間で出来ることを実行する」
- ・「自分のしたい事を見つけ、まちとの関わりを増やす」



(参考資料)【協働コーディネーター支援事業 事業計画案 (令和7年度)】

※企画検討段階の内容のため、前頁までの記録とは一部異なる

- ねらい：赤坂町内会、ポンスの協働事業の実践を支援
 - ・赤坂町内会：夏まつりの実施 及び 報告・振返りのサポート（助成金事業）
 - ・ポンス：成果と課題・展望について検討
- 対 象：赤坂町内会4名、ポンス6名、コーディネーター4名
 - ※第3回（成果報告会）には、夏まつりに協力した事業所にもゲスト参加を呼び掛けたい
- 回 数：計3回、1回あたり2時間 ※日程決定
 - ◇第1回：6/21（土）【6/14 祭 実行委員会の後】
 - ◇第2回：9/13（土）【8/3 夏まつり・9/6 反省会の後】
 - ◇第3回：11/15（土）（※「コーディネーターフォローアップ講座」第2回と合同開催）
- 準備・プログラム案

| 回数・時期 | テーマ | 内容（末尾の数字は所要時間/分） |
|--------------|--|--|
| 事前準備 | | <ul style="list-style-type: none"> ・赤坂の進捗及び2名のコーディネーターの現状の関わり方などを確認 ・参加者及びコーディネーターへの日程調整及びニーズの聞き取り ・赤坂及びポンスに 参考資料の持参を依頼（チラシなど） |
| 第1回 6月21日 | 協働事業の具体的な 準備・検討 池田用意 ・次第 ・ポンス用の 事業記録カード | ①ガイダンス（事業概要、経緯・予定など）5 ②参加者の自己紹介（近況・経過報告）15 ③グループワーク（団体別）50 【赤 坂】（6/14 実行委員会の結果も踏まえて協議） 夏まつり開催に向けた協働相手との WIN-WIN の よりよい連携や運営体制などを中心に悩みを議論 相手のメリットや事情に配慮している？ （※終了10分前くらいに提案 来場者アンケート調査の実施を提案したい。 ただし、本部テントなどで簡易に粗品付きで できるなら…。目的や人員次第で検討） 参加者3～4名+2人 【ポンス】（※順調！5月号広報 生涯学習講座の案内掲載 親子ふれあい工房/生涯学習講座） R7前半の成果と今後の課題・展望 （できたこと、創出した価値・意義など） ・やった事業を書き出してみる ・事業別に成果と課題 ・今後の改善点等 参加者4名+1人 ④全体トーク20 ・グループワークの成果発表 ⑤事務連絡10 ※「コーディネーターフォローアップ」を概要説明くらい |
| 8/3 | 夏まつり当日 | ※コーディネーター・卒業生に参加のご案内（ご招待？） |

| | | |
|-------------|--|--|
| 9/6 | 夏まつり振り返り | ※実行委員会にて振り返り |
| 第2回 9/13 | <p>成果と課題の ふりかえり (報告会準備)</p> <p>【資料】 ①次第 ②第1回振り返り ③赤坂夏まつり 開催結果概要? (会長より実行委員 会資料?)</p> <p>【準備の確認】 ・夏まつりの結果や 説明資料の作成 ・赤坂のメンバーに 当日の結果報告を 依頼しておく ・9/6 ふりかえり</p> | <p>①ガイダンス・第1回ふりかえり 5 ・ガイダンス(趣旨説明) 青山さん ・第1回の振り返り コーディネータさん</p> <p>②「赤坂 夏まつり」実施報告 15 ・赤坂から実施結果の報告 (写真のスライドショーを中心に) 10 ・ポンスからも結果の報告 3 ・実行委員会でのふりかえり結果の紹介 2 ※広報レポーターとして取材し写真あり</p> <p>③グループワーク「夏まつりの成果と課題」50 ・赤坂とポンス、コーディネータの混成チームを2つ作る ・夏まつりの「成果(よかった・できた)」と 「課題・改善策(もっとこうしたい)」をそれぞれの 視点から書き出し、グループで意見交換 【成 果】来場者数、来場者の様子(アンケート)、 実行委員会での声、連携相手の評価、 やりがい、新たに生み出した価値や魅力…など 【改善策】「準備(プロセス)」と「当日(実施内容)」に 分けて、よりよくするためのアイデアを検討</p> <p>④全体トーク 25 ・グループワークの成果発表 ・今年度の成果と、令和8年度の展望について意見交換</p> <p>⑤事務連絡 5</p> <p>※成果報告会にむけた説明資料 PPT 作成について、 団体メンバーとコーディネーターで協議 (なるべく団体が主体的に作成するように促す)</p> |
| | | ・2団体に対して、発表にむけたフォーマット・内容・項目を 示したうえで、発表資料を作っておいていただく |

| | | |
|---|--|--|
| <p>第3回 11月15日</p> <p>■資料 (赤は市) ・次第 (第2部も簡易に) ・協働事業 チラシ ・説明資料 ・アンケート</p> | <p>(第1部) 成果報告会</p> <p>13:00~14:50 (110分)</p> <p>15名程度 赤坂3~4名 ポンズ2~3名 コーディネータ9名</p> | <p>※冒頭、赤坂チーム・ポンズチームに分かれて着席 ※その他のコーディネータさんはオブザーバ席(椅子のみ)</p> <p>①ガイダンス(概要、ねらい、団体紹介、2年間の経過、今年度2回の経過を説明)10</p> <p>②活動成果発表(2団体、説明15+質疑応答5)40 (パワーポイントで成果発表)発表順:赤坂→ポンズ 団体・メンバー紹介、活動内容及び成果、コーディネータの役割、今後にむけた課題・展望…など</p> <p>※中締め・休憩 10 もしかしたら…オブザーバ参加者は退室もOK おしゃべりに参加・見学したい方には残ってもらう</p> <p>③グループワーク(5~6名×4グループ)30 ・発表後に、どちらか好きなテーブルに着席 ・2グループにわかれて意見交換(赤坂チーム、ポンズチーム) ・「協働」の視点を踏まえて、以下を意見交換 ①R6・7成果(こんな点がいいね) ②R8にむけた展望・提案・期待(こうしたらどうか)(余裕があれば…③コーディネーターの評価・感謝) ・コーディネーターは、グループの進行役になり参加者から意見を引き出す(練習)</p> <p>④全体トーク15 ・2グループの発表、質疑応答(5分×2)(コーディネーターさんから) ・2団体からまとめコメント(2分×2)(コーディネーターへの感謝など)</p> <p>⑤まとめ・事務連絡(新年度の予定など)5</p> |
| <p>※中締め・休憩 2団体は退室してもOK</p> | | |
| <p>資料 アンケート (市で作成)</p> | <p>(第2部) コーディネーター フォローアップ 講座 第2回</p> <p>15:00~16:00 (60分)</p> <p>出席予定9名</p> | <p>①第1部のふりかえり・論点整理(池田)5 ・団体が評価した市民コーディネータの役割・強み(伴走支援、傾聴、論点整理など)</p> <p>②個人の発表「頑張ります宣言」40 ・市民コーディネータとして取り組んでみたい新たな一歩のアイデア(学んだことをどう活かすか?)をA3ワークシート(池田用意)に記入する5 ・A3ワークシートをホワイトボードに貼りつける ・1人ずつ発表 1分×9 ・3人終わったら前に貼りに行く×3回 ・コメントを各自で確認(読み込む) ・残りの時間でフリートーク10~15分</p> <p>③まとめ・事務連絡10 ・池田からもコメント ・第1回の意見も踏まえつつ、市としての ●コーディネータ制度の今後の方針など一言(例:知名度アップ、マッチング、機会提供) ●R8 コーディネート事業への協力依頼、登録呼びかけ ●終了後、写真(記録)撮影5</p> |